

2009年8月16日

第40回全国臨時教職員問題学習交流集会inあおもり

【主催者あいさつ】

40年の臨時教職員運動と青森集会で考えたいこと

臨時教職員制度の改善を求める全国連絡会
会長 山口 正（愛知教育大学）

はじめに、主催団体を代表して、＜第40回全国臨時教職員問題学習交流集会inあおもり＞に参加されたみなさんに歓迎のあいさつを送ります。また、今集会開催のために、ご尽力いただいた現地実行委員会のみなさんに感謝を表します。三日間、お世話になります。

【1】前回の青森集会在が投げかけたこと

臨時教職員運動が組織的に始まって、今年で40年。全国連絡会はこの間、臨時教職員制度が子どもたちの学習権・発達権を侵害し、教育に携わる教職員の労働権を侵害する、二重の人権侵害という本質をもっている実態を告発してきました。また、それらの人権侵害を許さない闘いを“教育に臨時はない”という言葉にこめて追求してきました。

その闘いの歩みを概観すると、つぎのようになります。

[第1期] 運動の開始（1969年）から1970年代の運動

* 全国の仲間の交流とその広がり

[第2期] 1980年代

* 臨時教職員自身の立ち上がりとサークル活動の前進

* 待遇改善（社会保険・雇用保険実現）

[第3期] 1990年代

* 採用制度改善の新たな活動と臨時教職員の組織化

* 「当事者」を支える運動の提起

[第4期] 2000年以後

* 臨時教職員の急増・格差拡大による非正規問題（認識）の広がり

* 未組織臨時教職員への組織化・改善の取り組み（新たなサークル活動の展開と教職員組合の対応・対策）

* 教員採用制度の公開拡大と公正な運用を求める活動

* 非常勤問題・長期臨時教職員の正規採用化の検討

* 世論化のための市民組織の発足と前進

こんにち、働く者の非正規問題が社会問題として鋭く問われていますが、臨時教職員制度の実態に向き合う全国各地の改善運動がなければ、学校における教職員の非正規化はもっと拡大し歯止めなき状況になっていたことと思います。

青森で全国集會を開催するのは、今回で2回目です。前回は第28回集會を、1997年に浅虫温泉で開催しています。全国連絡会の著書『教育に臨時はない／教師の良心をかけて』（2005年）のなかで、一戸さん（青森県教職員組合）が開催にいたる経過を記されています。

ここで、その一端を紹介します。

1996年、「全臨教の集会を青森で…」という、それまでは考えもしなかった要請があった。当時、青森にはこれを受け入れるための専門の組織はなく、「まず組織づくりから」ということになったのである。

せっかく、全国的な集会を開くのなら、その後の青森の運動につながる組織をつくろうということで、前述の奥村氏から、臨時教職員運動を進める三つの柱が提案された。

自覚的な教職員組合がこの運動の先頭に立つこと。

公教育の視点からこの運動を県民世論化していくこと。

臨時教職員自身がこの運動に参加すること。

以上の三つの柱をもとに討論を重ねた結果、これまでの本県の教職員運動の前進に力をあわせてきた三つの教職員組合の力でスタートしようという結論になり、「青森県臨時教職員問題三教組連絡会」ができ、当時県教組の書記長をしていた私が初代事務局長ということになった。……

三本柱の提案とその後の三教組連絡会の活動は、臨時教職員制度改善運動をすすめるうえで何が欠かせないのか、その方向を全国に投げかけるものでした。

今回の集会でも、臨時教職員制度に向き合う、青森の新たな取り組み（闘い）から大いに学び合いたいものです。青森では、若い教職員（臨時教職員含む）の力と市民運動（組織）の活動が新たな運動の広がりとして追求されていると聞きます。

【2】今集会で考えたいこと（課題）

以下、今集会で重視したい課題を提案します。

この集会では

- （1）臨時教職員の切実な実態交流をとおして、臨時教職員問題の本質を理解します。
- （2）臨時教職員問題の理解をとおして、働くルール確立のための改善方向を検討します。とりわけ、乱用される臨時教職員政策・経営に対して、教職員としての正当な任用保障・労働条件の確立に向けて、全国各地の闘いの教訓から学び合います。
- （3）受験者・父母・住民に開かれた公正な教員採用選考のあり方を、青森をはじめ、全国各地の採用選考実態と闘いの教訓から深め合います。
- （4）現地青森の教育や臨時教職員の実態報告をとおして、大都市部以外の過疎地域で起こっている、新たな貧困の拡大、教育の危機、新規教員の県外流出、非正規の拡大状況を理解します。

今集会も、参加者の自主的で多様な交流をとおして、新たな〈出会い〉と〈学び合い〉をつくり出したいものです。

みなさんのちからで、集会を成功させましょう。よろしくお願いします。